

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 2 日 (2006.3.2)

【公開番号】特開 2004-217575 (P2004-217575A)

【公開日】平成 16 年 8 月 5 日 (2004.8.5)

【年通号数】公開・登録公報 2004-030

【出願番号】特願 2003-7540 (P2003-7540)

【国際特許分類】

**C 0 7 C 67/03 (2006.01)**

**B 0 1 J 31/02 (2006.01)**

**B 0 1 J 31/12 (2006.01)**

**C 0 7 C 69/54 (2006.01)**

**C 0 7 B 61/00 (2006.01)**

【F I】

C 0 7 C 67/03

B 0 1 J 31/02 Z

B 0 1 J 31/12 Z

C 0 7 C 69/54 Z

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 12 日 (2006.1.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 スズ化合物 (C 1) を触媒として原料の (メタ) アクリル酸アルキルエステル (E 1) とモノアルコール (A 1) とをエステル交換反応 (R 1) させ、得られた反応液から蒸留により目的とする (メタ) アクリル酸エステル (T 1) を留出させて取得し、その際に得られるスズ化合物を含む蒸留残渣 (C 2) を触媒として原料の (メタ) アクリル酸アルキルエステル (E 2) とモノアルコール (A 2) とをエステル交換反応 (R 2) させ、目的とする (メタ) アクリル酸エステル (T 2) を取得する (メタ) アクリル酸エステルの製造方法において、次の (1) ~ (3) の特徴を有する (メタ) アクリル酸エステルの製造方法。

(1) 前記エステル交換反応 (R 1) 中の反応液に含まれる水分量を前記スズ化合物 (C 1) に含まれるスズ原子 1 モルに対して 0.0001 ~ 5 モルにする。

(2) 前記蒸留残渣 (C 2) に含まれる水分量を、前記エステル交換反応 (R 2) に使用するまでの期間、スズ原子 1 モルに対して 0.02 ~ 5 モルにする。

(3) 前記エステル交換反応 (R 2) 中の反応液に含まれる水分量を前記蒸留残渣 (C 2) に含まれるスズ原子 1 モルに対して 0.0001 ~ 5 モルにする。